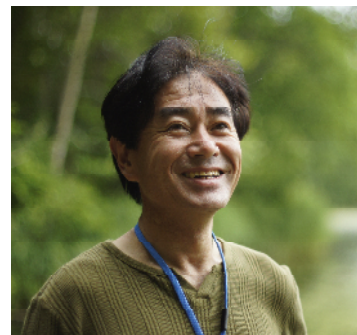


2014 ふくしまキッズ春プログラム開催概要

1.実行委員長挨拶

～2014春プログラム参加するにあたって

ふくしまキッズ実行委員会 委員長 進士 徹



2011年3月11日の東日本大震災・原発事故から3年の時間が経過しました。福島県は時間の経過とともに様々な課題がさらに複雑化しています。しかし、そうした中でも子どもたちは大切な「子どもの時間」を生きしており、この子どもたちは新生福島の郷土を創り上げて行く大切な一人一人なのです。

私たちのふくしまキッズの活動も3年が終わり、4年目を迎えようとしております。繰り返し参加している子どもたちが、ふくしまキッズの様々な体験活動を通じた気づきや学びから、感謝の心、少しの我慢など、成長の階段を一段一段上っている気がします。

この春のふくしまキッズの活動は北海道：大沼・三笠、岐阜県、京都府、兵庫県、長崎県、そして県内の7カ所での開催で、各受け地では準備態勢を整えつつあります。このふくしまキッズの活動連携も日本各地に広がり、子どもたちにとっても学び多き春の活動になると確信しています。

参加当日を迎えるまでに、委員長の私から3つのお願いです。

1つめ：家族の目標を立ててみましょう。

2つめ：荷物の整理整頓、準備もお子さんも必ず関わりましょう。

3つめ：受け地での、自分が出来ること、やれることを見つけ、実践してみる。

楽しみの中に、学ぶがさらに生まれると思いますこの3つを是非実践してみましょう。

このように震災から3年を経過しても春休みのプログラムが実施できることは、心温まる支援金をいただけたからです。まだ会っていないけれど、ふくしまキッズの活動に心を同じくしてくれる人がいることを忘れないで参加してほしいと思います。

それでは、この参加要項を確認しながら準備を進め、当日は元気に会いましょう。



2.ふくしまキッズの基本理念

本プログラム(「ふくしまキッズ」)は、福島原発事故により深刻な影響を受けている福島の子どもたちに、せめて学校長期休暇期間に、放射能の心配をすることなく思いっきり遊び、子どもらしくのびのび過ごすことのできる環境を提供することを基本の目的としています。また同時に、「ふくしまキッズ」の活動で子どもたちの「学びと育ち」を支援する各種教育事業を実施し、復興福島を担う人材を育成することを目的とします。

この事業計画にご賛同いただいた福島在住の保護者の方々のお子様たちを対象にしております。基本的には希望者全員をお引き受けすることを原則とし、受け入れ先についてはふくしまキッズ実行委員会での選考により決定いたします。

本プログラム実施にかかわる諸経費は、全国の皆さまからの支援金で賄います。こうして、多くの皆さまの支援のもと、本プログラムを継続的に実施することで、支援の輪を徐々に広めながら、「子どもを社会で育てる」という機運を高めていきたいと思えます。

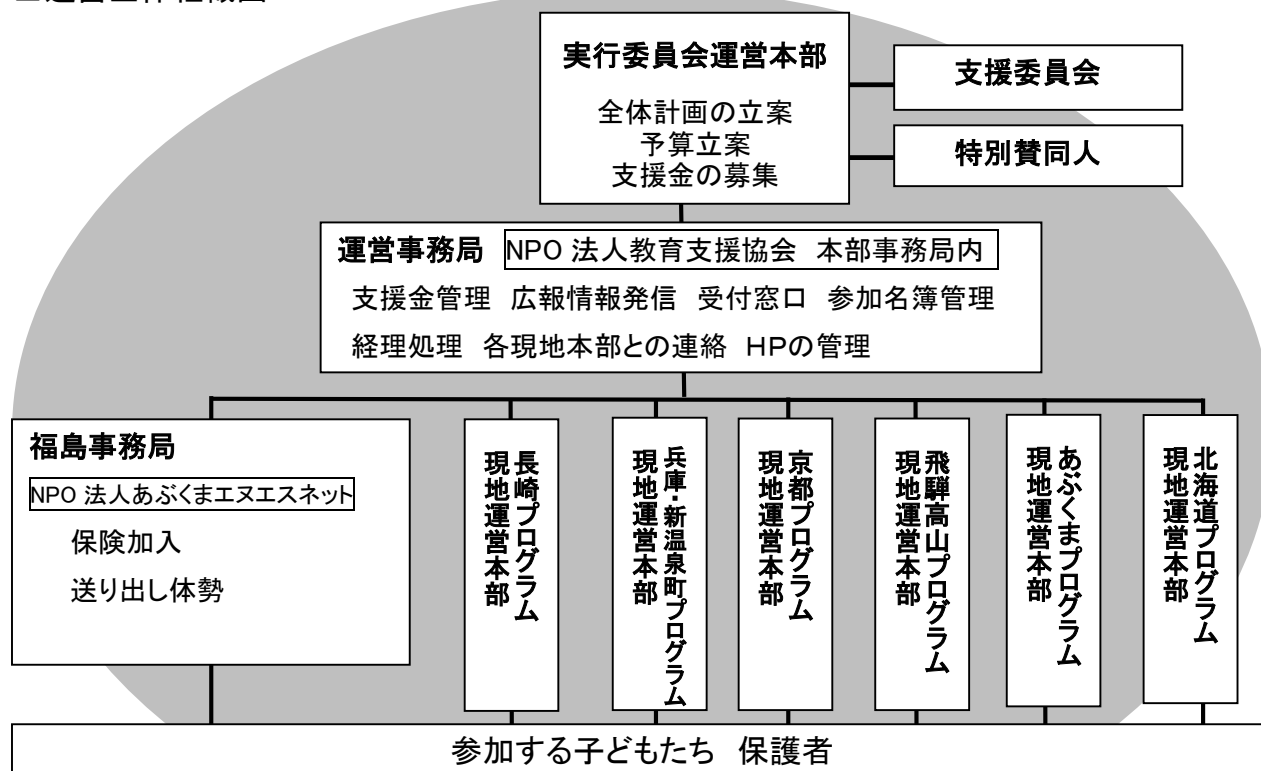
このように「ふくしまキッズ」の活動では、世界中の方々からこの活動を支えていただくために支援金を募集しておりますが、保護者の皆様にも子どもたちの活動へ「参加費」としてご負担をお願いしております。(ただし、生活保護家庭は全額無償としておりますので、対象となる方はお申し出ください。)

事業実施にあたっては実行委員会が、本プログラムの活動趣旨に賛同したうえで協力関係を築いていただける受け入れ地(受入協議会)と協働して、運営します。



3. 2014 ふくしまキッズ春のプログラム運営体制

■運営全体組織図



■運営・主催・体制

主催 : ふくしまキッズ実行委員会

事務局 : 特定非営利活動法人教育支援協会 本部事務局

神奈川県横浜市南区浦舟町3-46 浦舟複合福祉施設9階 フリースペースみなみ内

TEL: 045-243-3860 FAX: 045-243-6841 E-mail: info@fukushima-kids.org

北海道プログラム 現地本部 NPO 法人 ねおす

札幌市中央区南3条西17丁目 291-227 すずかけビル3F

TEL: 011-615-3923 Email: npo@neos.gr.jp URL: www.neos.gr.jp

あぶくまプログラム 現地本部 NPO 法人あぶくまエヌエスネット

福島県東白川郡鮫川村大字赤坂東野字葉貫 57 NPO あぶくまエヌエスネット

TEL: 0247-48-2508 FAX: 0247-57-5775

飛騨高山プログラム 現地本部 NPO 法人教育支援協会東海

名古屋市西区南川町 297 NPO 法人教育支援協会東海

TEL: 052-505-4900

京都プログラム 現地本部 関西自然教育ネットワーク(KENN)

京都府南丹市美山町田歌上五波 田歌舎

TEL: 0771-77-0509 FAX: 0771-77-0539

兵庫・新温泉町プログラム 現地本部 新温泉町いなか体験協議会

兵庫県美方郡新温泉町浜坂 2673-1 新温泉町役場商工観光課内

TEL: 0796-82-5625 FAX: 0796-82-3054

長崎プログラム 現地本部 長崎純心大学 littre tree

〒852-8558 長崎市三ツ山町 235 担当 松永公隆

TEL: 095-846-0084(内線 355) FAX: 095-849-1894 E-mail: K_matunaga@n-junshin.ac.jp

ふくしまキッズ実行委員会

委員長：進士 徹	(NPO あぶくまエヌエスネット理事長)	全体総括・福島県内活動受け入れ担当
副委員長：吉田 博彦	(NPO 教育支援協会代表理事)	事務局長・支援金募集・渉外担当
実行委員：宮本 英樹	(NPO ねおす理事)	常任実行委員
実行委員：安江 こずゑ	(NPO 教育支援協会北海道代表理事)	常任実行委員
実行委員：上田 融	(NPO ねおす理事)	北海道受け入れ担当
実行委員：高橋忠明	(NPO 教育支援協会東海チーフコーディネーター)	岐阜受け入れ担当
実行委員：藤原 誉	(田歌舎)	京都受け入れ担当
実行委員：中井達也	(新温泉町いなか体験協議会事務局)	兵庫受け入れ担当
実行委員：松永公隆	(長崎順心大学教授)	長崎受け入れ担当
監査委員：金野 栄太郎	(公認会計士)	会計管理・決算管理担当

ふくしまキッズ支援委員

遠藤 和章	(北海道公民館協会事務局長)
玄侑 宗久	(作家・震災復興構想会議委員)
白石 康次郎	(海洋冒険家)
ジョン・ギヤスライト	(ツリークライミングジャパン)
田口 ランディ	(作家)
寺脇 研	(京都造形芸術大学教授)
戸塚 隆	(ジャーナリスト)
中島 岳志	(北海道大学大学院法学研究科准教授)
藤田 保	(立教大学教授)
湯川 れい子	(音楽評論、作詞家)
吉田 研作	(上智大学教授)

(50 音順、敬称略)

ふくしまキッズ特別賛同人

秋山 豊寛	(ジャーナリスト・宇宙飛行士・京都造形芸術大学教授)
荒井 満	(作家・作詞作曲家)
鎌田 實	(医師・作家)
小林 武史	(音楽家・ap bank 代表理事)
坂本 龍一	(音楽家)
西田 敏行	(俳優)
日野原 重明	(聖路加国際病院理事長・日本音楽療法学会理事長)
細川 佳代子	(NPO 法人勇気の翼インクルージョン 2012 理事長)
吉永 小百合	(俳優)

(50 音順、敬称略)

2014 ふくしまキッズ春プログラムについて

各コース日程について

春プログラムは、福島県内・県外 6地域にて開催いたします。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| (1)「北海道プログラム」 | 北海道(主要拠点:①七飯町大沼地区 ②三笠市) |
| 2014年3月25日(火)～4月2日(水) 8泊9日 | |
| (2)「あぶくまプログラム」 | 福島県(主要拠点:東白川郡鮫川村) |
| 2014年3月26日(水)～4月1日(火) 最長 6泊7日 | |
| (3)「飛騨高山プログラム」 | 岐阜県(主要拠点:高山市、各務原市) |
| 2014年3月25日(火)～4月3日(木) 9泊10日 | |
| (4)「京都プログラム」 | 京都府(主要拠点:南丹市美山町) |
| 2014年3月25日(火)～4月2日(水) 8泊9日 | |
| (5)「兵庫・新温泉町プログラム」 | 兵庫県(主要拠点:美方郡新温泉町) |
| 2014年3月25日(火)～3月30日(日) 5泊6日 | |
| (6)「長崎プログラム」 | 長崎県(主要拠点:長崎純心大学) |
| 2014年3月25日(火)～3月30日(日) 5泊6日 | |

ふくしまメッセージについて

皆さんの福島原発事故から今に至る心の有り様を、引き受けていただく地域の方々にわかるように、そのまま書いてください。メッセージは参加するお子さま、保護者の方のそれぞれでお書きいただき、参加当日に必ずお持ちください。

内容については、1～4を参考にしてください。

- 1.子どもながらに感じる事。保護者の方は、福島で生きなければならない人生の選択。
- 2.お世話になる受入れ地の子どもたち、地域の人たちへメッセージを。
- 3.ふくしまキッズの活動で思うこと。
- 4.支援金の寄付で活動を応援してくれた方々へ向けて・・・。

機会を設けて、受入れ地で発表していただく予定です。

ふくしまメッセージは、10年後、30年後、100年後の未来に伝える貴重なメッセージとなるはずです。ふくしまキッズ実行委員会のHPにも掲載させていただきます。

参加費について

北海道プログラム、飛騨高山プログラム、京都プログラム、兵庫・新温泉町プログラム、長崎プログラム

子ども一人につき3万円

※ 北海道大沼コースでは、幼児(保護者同伴)の受入れが可能です。その場合、幼児に同伴される保護者の参加費は3万円、滞在費を1日4千円とします。保護者の皆様には活動中様々なお手伝いをお願いする場合がありますことをあらかじめご了承ください。

あぶくまプログラム

子ども一人につき5千円

生活保護を受給されているご家庭について

お一人、1コース参加時の費用

・子ども／全額無料、同伴保護者／(参加費)30,000円＋(滞在費)4,000円×滞在日数

※生活保護受給者証の写しを、事務局まで提出していただく必要があります。

●キャンセルについて

1) キャンセルをされる場合は、メール・FAX・郵送のいずれかで必ずご連絡ください。お電話でのキャンセルは承っておりません。キャンセルの際は出発日を基準とし、以下のキャンセル手数料を申し受けます。なお、返金手数料として一律 2,000 円(振込み手数料＋諸経費)を申し受けます。

兵庫・新温泉町プログラム、長崎プログラム

出発日の21日前から9日前まで	30%
出発日の8日前から2日前まで	50%
出発日前日	70%
出発当日以降	100%

北海道プログラム、あぶくまプログラム、飛騨高山プログラム、京都プログラム

出発日の16日前から13日前まで	30%
出発日の12日前から2日前まで	50%
出発前日・当日以降	100%

2) 事務局に書類・メール・FAX などが到着し確認できた時点でキャンセルの受理といたします。参加費を納入しないことはキャンセルの意志表示にはなりませんので、ご注意ください。

3) キャンセル後の返金は春プログラムの全日程終了後(平成 26 年 4 月 3 日以降)の処理になります。

4) 出発時に遅刻しプログラムに参加できない場合は当日キャンセルの扱いとなります。

5) 当日キャンセルの場合は、集合場所に保護者の方がおいでいただき、スタッフに伝えてください。

安全管理や医療体制について

●主催者側が活動を中止と判断した場合

- 1) 自然災害(地震・台風・大雪など)やその他の理由(インフルエンザ・開催地に深刻な被害のある場合など)により主催者側で安全にプログラムが実施することが困難と判断した場合、申込書に記載いただいたご連絡先(FAX・E-mail・電話)に直接ご連絡いたします。
- 2) 主催者側がプログラムの中止を事前に判断した場合、参加費より返金手数料(一律2,000円)を除いた金額をご返金いたします。プログラム開始後の自然災害など不可抗力要因により活動期日を短縮した場合にはご返金しかねますのであらかじめご承知おきください。

●安全管理

- 1) 各種活動フィールド、施設、移動手段等は、基本的に安全確認済みです。
- 2) 活動フィールドの下見と対策、リーダー研修の実施、参加者への安全教育など、危険を最小限にするための安全対策を講じ、また活動中は同様にスタッフが細心の注意を払いますが、100%事故が起きない保障はできません。万が一に備えて主催者側で傷害保険に加入いたします。

●傷害保険

- 1) 有事の際は、主催者側の過失の有無にかかわらず、当該保険の範囲で補償いたします。なお、疾病は適用外となります。

保険加入内容:日本アウトドアネットワーク野外活動包括保険

入院保険金:5,000円/日(180日限度) 通院保険金:3,000円/日(90日限度) 救援者費用:100万円(上限)

- 2) 活動中の通院につきましては、一旦実費負担となります。また1回の通院にかかわる手配同行手数料(2,000円)も合わせてご負担いただきます。ご家庭へは後日清算させていただきます。

●緊急医療体制

- 1) 主催者、及び指導者は安全確保を最優先いたしますが、参加者も自己責任をモットーに行動してください。事故発生時には各地で組んでいる緊急医療体制に従って対応します。
- 2) 傷害保険に加入しています。万一、事故が起きたときは当該保険の範囲での保証になります。ご了承ください。
- 3) 期間中の持病の発病や本人の不注意によって生じた事故については、主催者及び指導者は責任を負いません。病気やケガ、精神的な理由により帰宅させるのが望ましい状況になった場合は、速やかにご家庭に連絡を入れ、ご相談したうえで対応いたします。お子さまにやむをえず帰宅いただく際は、原則保護者にお迎えに来ていただきます。保護者のお迎えが困難な場合は、運営側で引率しますが、この場合実費交通費を後日ご請求させていただきます。その際参加費の返金はいりませんのであらかじめご承知おきください。

●保険証のコピー

- 1) 健康保険証コピーをご持参ください。
※健康保険証のコピーは、封筒に入れてのりづけし、封筒表に「保険証コピー」と記載、参加者(子ども)の氏名を明記しご提出ください。兄弟姉妹でご参加いただく場合でも、健康保険証のコピーは別々にご準備ください。
- 2) 病院によっては、コピーした健康保険証では保険の適用を行わないことがあります。その場合には全額自己負担となりますが、後日「療養費」として払い戻しを受けることができます。

●指導者

運営本部と現地本部運営団体と委託協力契約を結びます。開催受入地では、プログラム全体運営、宿泊手配、食事手配、医療環境整備など進めます。受入地で多くの協力を得ながらプログラムの指導体制を構築し、安全に子どもたちが楽しく生活を送れるように支援していきます。子どもたちの生活班、活動班に直接配属され、生活面(食事、入浴、就寝、体調の管理など)から活動に至るまでの全てのプログラムについての安全管理をしていきます。

持ち物について

●荷づくりにあたり

- 1) コースによりご持参いただく荷物が違います。細部ご確認をお願いいたします。
- 2) 持ち物は、保護者だけで準備せずにお子さまに荷づくりをさせてください。準備の段階からすでに活動は始まっています。
- 3) ご家庭で何度も荷物整理の訓練をしてください。くれぐれも忘れ物がないようお願いいたします。
- 4) 着替えは1日ごとに袋に入れてください。お子さん本人も把握しやすいです。
- 5) **必ず所持品全てに名前を記入してください。**忘れ物を出さないためにもお願いします。
- 6) 荷物は日常使っているものを持たせてください。(新しい物は、お子さんが自分の物の認識が薄くなる傾向があります。)

●持ってきてはいけないもののリスト

- ☐ ゲーム機、個人で遊べてしまうもの
 - ☐ 携帯電話、個人で連絡を取れるもの
 - ☐ 貴重品、不必要な現金(時計など高価なものやなくして困るようなもの)
 - ☐ マッチ、ライター、ナイフ類
- ※お友達と一緒に遊べるもの(トランプなど)はお持ちになっても構いません。

●薬について

薬は、原則自己管理となります。スタッフが食後などに声かけはしますが、現在服用している薬がある場合には、事前に用法をお子さまによくご説明ください。持参する薬は普段飲み慣れているものにしてください。特別な薬を服用する場合は、薬と処方箋をいっしょに袋に入れ、必ず名前をご記入ください。持参した薬は決して他の子どもに与えないよう、ご家庭でもお子さまにお伝えください。

●持ち物の紛失について

持ち物の紛失、破損(汚れを含む)についての責任は負いかねますので、予めご承知おきください。本人の責任においてお取り扱いください。

●初日のお弁当について

初日のお弁当は、「おにぎりもしくはサンドイッチ」で統一します。必ず当日作るようにしてください。ゴミの減量にご配慮のほどよろしくお願いいたします。

保護者のみなさまへ

●毎日の活動の様子

活動最中の様子は、ふくしまキッズのホームページからご覧いただけます。
ふくしまキッズホームページ URL <http://fukushima-kids.org/>

●保護者の方へお願い

- 1) お子さんが一時家を離れることになります。ご家庭でも事前に勇気づける言葉をかけてください。また帰宅する日は、お出迎えをお願いします。温かい言葉をかけてください。

●個人情報保護について

- 1) 参加申込情報、健康調査情報、保険証の写しについては、受入地で管理・保管して、参加者の同意を得た者以外の第三者に提供、開示等一切いたしません。
- 2) 今後事務局よりの各種ご案内やアンケートなどを、E-mail、郵便等により送信もしくは送付させていただきますが、参加者のお申し出があれば、これらの取扱いを中止することができます。
- 3) 活動期間中に撮影しました写真、ビデオなどにつきましては主催者側でHPやパンフレットなどの活動報告のために使用する事がございますので、あらかじめご了承ください(撮影は原則主催者のみ行います)。ただし、氏名・住所等の掲載・公開は一切いたしません。
- 4) 活動期間中にテレビ、新聞などの取材がある場合もございます。その際、インタビューを受けたお子さまの氏名などが掲載される場合もございますので、あらかじめご了承ください。テレビ、新聞などの取材が開始された後に、放送、取材を拒否することは、放送局、新聞社等に損害を与えますのでお断りします。
- 5) 写真、ビデオなどの使用に際し、不都合のある方は予め事務局までご連絡ください。

Q&A

Q: 4歳児がいますが、兄妹と一緒にならば親なしで参加可能ですか？

A: 幼児の場合、保護者が同伴でないと精神的な問題で宿泊などができないことが多くあります。そのため、小学生の兄弟と一緒にでも、小学生未満が参加するときは、親の同伴が義務づけられています。

Q: 福島県内に住所をおいてあるが、現在県外に避難しています。参加できますか？

A: 「福島県内に現在でも在住」の方を対象としていますので、参加対象外となります。

Q: 持病があり、自分で薬を服用したり、注射をします。その場合本人がきちんとできますが、スタッフも子どもと一緒にしてほしいのですが？

A: 体調管理として、毎日体調チェック表を作るようにします。スタッフも期間中確認する態勢でのぞみます。

Q: うちの子は9歳、6歳、3歳です。この企画を知りぜひ参加したいと思いましたが、3歳の子を残して参加させるわけにはいきません。そのため、親と同伴になると思いますが、親の参加費が一日4,000円だと金銭的にかなり厳しい人が多いと思います。親の滞在費を何とかしてもらえませんか？

A: ふくしまキッズの支援金はあくまでも参加するお子さまの活動を支援する目的でご協力しています。保護者の方の滞在費を支援金から負担することはできませんので、ご理解いただきたいと思います。できるかぎり多くの子どもたちが参加できるように努力していますので、ご負担のご協力よろしくお願いいたします。

Q: 子どもがまだ幼いので、お風呂などの時にはボランティアの方が一緒に入ったりするのでしょうか？

A: 基本的に生活には学生ボランティアがつかますので、大丈夫です。ご安心ください。

Q: 体の不具合はなく活発ですが、ちょっと恐がりなところがあり、プログラムを全て参加できるかわかりません。なにしろ集団生活なので心配だらけです。

A: プログラムの参加は、ある程度柔軟に考えています。出来れば、今日の体験プログラムは「参加希望の子はどうぞ」と言うようなスタイルで行きたいと考えています。

Q: 健康管理、安全管理についてはどうなっていますか？

A: 体調管理については、プログラム開催中毎日『体調チェック票』を使ってその日の体調をリーダーが把握できるようにしています。また、現地のスタッフが活動場所を事前に下見して、危険箇所の確認をしています。

Q: 『おねしょ』が心配なのですが、大丈夫でしょうか？

A: 環境が変わると普段心配なお子さまでもおねしょをしてしまうことはあります。心配な場合は健康調査書にその旨をご記入いただければスタッフが夜中に子どもを起こしてトイレに連れて行くなど対応します。やむを得ず貸出寝具を汚してしまった際、場合によってはクリーニング代を請求させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Q: 集合解散場所までひとりで行かせてもよろしいでしょうか？

A: 小学生の参加者はお手数ですが、保護者もしくはそれに代わる方の付き添いをお願いいたします。中学生は保護者が大丈夫と判断された場合は、事務局に連絡した上で受け入れることにします。

Q: 子どもに家へ電話させたいのですが、できますか？

A: ご家庭と電話連絡をとることは、お子さまの自立心を育てる妨げになりますので禁止とさせていただきます。事務局からご家庭に連絡がなければ、お子さまは元気に過ごしているとお考えください。今回のプログラム期間中には、原則ハガキをご自宅に出すことはさせません。なお緊急時には、事務局にご連絡ください。

Q: 乗り物酔いしやすいのですが・・・

A: 乗り物酔いをしやすい方は、酔い止めの薬を持たせてください。また、行きはご家庭で酔い止め薬を飲ませてください。帰りは、現地出発前にスタッフが子どもたちに酔い止め薬を飲むように伝えます。

Q: 現地でお土産を買ってもいいですか？

A: お土産を買う希望があれば行きます。ただし高価な物は控えるように指導します。

Q: お小遣いはどのくらい持っていけばよいですか？

A: 1,000円～5,000円程度でお願いいたします。お小遣いを使う場面としては、喉が渴いた際の飲み物を買う時や、お土産を買う程度です。財布は自己管理を基本としますが、必要な場合はリーダーが管理します。

Q: 解散の時にお迎えにいけません。友達の保護者に頼んでもいいですか？

A: お迎えが保護者以外の方（友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など）は、必ず事前に事務局までご連絡をください。急な場合は直接受入地担当者へご連絡ください。

開催プログラム コース別詳細

北海道プログラム

北海道 大沼コースについて

1. 開催日: 3月25日(火)～4月2日(水) (8泊9日)
2. 参加対象者: 小学校1年～中学3年生 ※幼児は保護者同伴でのみ参加可能
3. プログラム内容

北海道・大沼で、多くのボランティアや地域の方とふれあい、北の大地での生活重視プログラムを展開します。「自分のことを少しでも自分でできるように」を目標に、健康的に遊んで、たくさん食べて、ぐっすり眠るという生活のリズムを重視します。遊びはどこよりも自由度が高く、子どもが自分のやりたい遊びを創りだし、大人は全力でサポートします！雪遊び？クラフトづくり？木こり体験？馬車にのる？夜はたき火？海に行く？牧場での馬やヤギの餌やりのお手伝いも体験できます。

生活に慣れたら、2泊3日のフィールドトリップは高学年を中心に出かけます！時刻表や観光情報を見ながら、仲間たちと喧々諤々と話しあい、計画を練ります。JRで縦横無尽に道南の地域を巡り、地域特有の体験をします。旅は笑いありと涙ありのドラマで溢れています。電車を間違えたり、全然計画通りにいかない・・・ハプニングも旅の思い出です。ひと旅を終えた旅人たちの顔は自信にいつも満ちています。

2泊3日の合宿・民泊は低学年を中心に出かけます！合宿は仲間と一緒にわいわいがやがや過ごし、民泊はゆったりとした時間のなか各家庭で過ごし、そこで北海道の本場の暮らしを体感します。その土地ならではのちそうを食べたり、地域独自の習慣や秘密を知ること、親戚が新しくできるような、また訪れたいと思える地域・人が増えることでしょう。

最後は全員そろってのさよならパーティー！それぞれの思い出を振り返り、笑顔のフィナーレを迎えます。回を重ね常に進化を続ける大沼プログラムは、初めての参加の子、低学年の子にも優しいプログラムです。

日 付		内 容	備 考
3月25日	火	福島よりJR移動 大沼に到着	体・心の緊張をほぐします。 ◆青少年宿泊施設「ネイパルの森」宿泊
3月26日	水	自由時間・生活の時間	北海道の雪・外に慣れ、生活のリズムを整えます。 ◆青少年宿泊施設「ネイパルの森」宿泊
3月27日	木	自由時間・生活の時間	思いっきり雪・外遊びを楽しみます。 ◆大沼ふるさとの森自然学校宿泊
3月28日	金	高学年: フィールドトリップの計画 低学年: 合宿・民泊の準備	出かける準備をします。 ◆大沼ふるさとの森自然学校宿泊
3月29日	土	高学年: フィールドトリップへ出発 低学年: 合宿・民泊へ出発	各地域、受け入れ先での活動 ◆各地域施設、民家等宿泊
3月30日	日	高学年: フィールドトリップ 低学年: 合宿・民泊	各地域、受け入れ先での活動 ◆各地域施設、民家等宿泊
3月31日	月	高学年: フィールドトリップから帰着 低学年: 合宿・民泊から帰着	各地域、受け入れ先での活動 ◆各地域施設、民家等宿泊

4月1日	火	自由時間・生活の時間 さよならパーティー	最後の雪・外遊びを楽しみます。 ◆大沼ふるさとの森自然学校宿泊
4月2日	水	大沼よりJR移動 福島に到着	

※ 荒天時や積雪状況によってプログラム内容は変更となります、ご了承ください。

※ 民泊・合宿は地域の事情によりスケジュールなどの変更がございます。

プログラムの補足

- ・大沼駒ヶ岳を中心とした各地域の自然素材を活用した体験活動を行います。
- ・子どもたちは身の回りの事は、できる限り自分でしていただきます。学生ボランティアは基本的には見守り、必要に応じて補助をします。
- ・「生活時間」とは、身の回りの整頓などの時間です。
- ・高学年を中心に3月29日～31日は、「フィールドトリップ型地域交流」プログラムです。道南地域にJR等での出掛け、グループで施設泊等をしながら地域の方と交流もします。グループ、内容や宿泊先などは参加人数や地域の体制を考慮し、受け入れ本部で決定します。
- ・低学年を中心に3月29日～31日は、「民泊（ホームステイ）、合宿」プログラムです。民泊は大沼周辺の地域にホストファミリーとなっていていただき、3～4名に分かれて宿泊をさせていただきます。合宿は大人数で道南の地域施設に宿泊し、地域スタッフが準備したプログラムを体験します。グループや宿泊先は、子どもたちやホストファミリーの意向を参考にしつつ、受け入れ本部で決定します。
- ・受け入れ状況などの場合によっては、高学年の一部が「民泊（ホームステイ）」プログラムに参加、また低学年の一部が「フィールドトリップ型地域交流」プログラムに参加することがあることをご了承ください。

具体的な内容

集団宿泊体験、合宿スタイルによる宿泊 集団での食事 身の回りの整理、片付け
 自然体験/雪を使った選択プログラム(雪遊び、氷あそび、ソリ、長ぐつホッケー、冬山登山など)
 牧場体験(馬やヤギの餌やりなど)、林業体験(薪割り、間伐など)
 フィールドトリップ/計画づくり、グループでの集団行動
 民泊・地域交流プログラム/ホストファミリーの家での生活・宿泊体験、地域交流

プログラム中の生活について

子どもが子どもらしく伸び伸び過ごし、互いに協力し合い、楽しく生活を創りあげ、自分の事は自分でできるように努力していきましょう。約束ごとは現地に着いてからリーダーと決めて行きます。

基本的な生活スタイル

- 6:30 起床
- 7:30 朝食
- ・・・生活の時間（身支度、清掃、洗濯など）・・・
- 9:00 午前の活動(体験活動、自由時間)
- 12:00 昼食
- 13:00 午後の活動(体験活動、自由行動)
- ・・・生活の時間（入浴、休憩、清掃など）・・・

- 18:00 夕食
19:00 プログラムに合わせた時間(ミーティング、準備、グループタイムなど)
21:00 就寝 スタッフ会議

片付けをする時間、掃除をする時間など、十分に持つようにします。このような活動には学生ボランティアが常に共有しますので、ご安心ください。

4. 子どもたちの主な活動・宿泊場所

・3月25日～26日

ネイパル森 北海道茅部郡森町駒ヶ岳657-15 TEL:01374-5-2110

・3月27日～4月2日

大沼ふるさとの森自然学校 北海道亀田郡七飯町字東大沼 294-1 TEL:0138-67-1726

5. 運営の体制について

- 総責任者 上田 融(NPO法人ねおす)
- 連絡先事務局 菊地 敏孝(大沼ふるさとの森自然学校事務局長)
- プログラム・安全管理責任者 穴澤 剛行(大沼ふるさとの森自然学校事業部長)
高野 克也(NPO法人ねおすディレクター)
高橋 諭子(大沼ふるさとの森自然学校ディレクター)
- 医療・カウンセリングチーム
地元医療機関
- ・大沼公園クリニック 亀田郡七飯町字大沼町258 TEL:0138-67-3032
- ・あぜ(野畔)の花クリニック 亀田郡七飯町字大沼町322-3 TEL:0138-67-5111
- ・はるこどもクリニック小児科・小児神経科 亀田郡七飯町本町6丁目7-42 TEL:0138-65-0500
- ・函館夜間救急センター 函館市白鳥町13-32 TEL: 0138-30-1199
- 活動中の連絡先:大沼ふるさとの森自然学校 北海道亀田郡七飯町字東大沼 294-1 TEL:0138-67-1726

運営体制について

ディレクター(3名)の下、ボランティアの方々と協力して子どもたちの活動をサポートします。安全管理や体調管理の都合、選択プログラムの定員等の関係から、現場にあわせたグループを作ることもありますが、基本的には「全員で全員を見守る」という姿勢で子どもたちと過ごします。

部屋割り・グループ編成について

新しい友達を作るというのも大切な活動の一つですので部屋割り・グループ編成はこちらにお任せください(期間途中にお部屋割を替える事もあります)。既存の子どもたちの関係性に固執せず、新しい環境ではじめて会った仲間と人間関係を築くことは、お子さまにとってリフレッシュを促すよい方法の一つです。趣旨をご理解いただきご協力のほどお願いいたします。

6. 往路について

出発までの流れ

【集合時間】 郡山駅 9:00受付開始 福島駅 9:20受付開始

※参加人数やJRの予約状況によって列車の変更などが出る場合がございます。変更になり次第保護者の皆様へご連絡致します。

想定移動時間：7時間ほど

内訳：福島市から郡山市を経由して、函館駅へ、JR函館駅からネイパル森・まで1時間

現地到着予定時間：16:00

到着場所：ネイパル森 北海道茅部郡森町駒ヶ岳657-15 TEL:01374-5-2110

出発前の注意

- ①集合前にトイレを済ませておいてください。くれぐれも遅刻のないよう時間に余裕を持ってお出かけください。
- ②スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。
- ③出発時刻の**15分前までに**名前のチェックを終えてください。
※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。
- ④手荷物は車内に持ち込む荷物デイパック(お弁当、水筒、保険証のコピー、衛生用品)程度にしましょう。
- ⑤乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。

座席について

座席は指定席です。スタッフが号車と座席のおよその場所を示しますので、スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂き直接スタッフに申し伝えてください。無理な場合は、担当者柴田(090-8344-9090)までご連絡ください。

7. 復路について

【JR到着予定時間】福島駅 17時頃着 郡山駅 17時半頃着

※参加人数やJRの予約状況によって列車の変更などが出る場合がございます。変更になり次第保護者の皆様へご連絡致します。

想定移動時間：7時間ほど 内訳：大沼からバスで函館駅へ、函館からJRで福島へ

解散について

スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方(友達、保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず担当者柴田(090-8344-9090)までご連絡をください。

8. 持ち物について

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	旅行用かばん(移動が多々あります。段ボール、衣装ケースは不可)
<input type="checkbox"/>	着替え(長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下・靴下・下着)
<input type="checkbox"/>	防寒着(分厚いセーター・フリースは必ず1枚は入れてください。)
<input type="checkbox"/>	洗面用具、シャンプー、リンス(ネイパル2日分)
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚～3枚
<input type="checkbox"/>	バスタオル
<input type="checkbox"/>	雪遊び用防寒手袋(防寒用ゴム手袋が最適) ※ 濡れた時の予備も含めて必ず2つお持ちください
<input type="checkbox"/>	防寒具(毛糸の帽子、ネックウォーマーなど)
<input type="checkbox"/>	スキーウェア上下(防水防寒の機能のある服) ※ 朝夕は0度を下回る場合もあります。
<input type="checkbox"/>	冬用長靴又はスノーシューズ
<input type="checkbox"/>	スキー用ゴーグル(雪遊びの時に使います。必須ではありません。ある方のみお持ちください。)
<input type="checkbox"/>	寝る時に着るもの(パジャマなど)
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)4から5枚程度
<input type="checkbox"/>	スパッツ(脚絆があると靴に雪が入らず長く外で遊べます。)
<input type="checkbox"/>	懐中電灯またはヘッドランプ (予備電池)
<input type="checkbox"/>	せんたくネット(大きいもの)
<input type="checkbox"/>	ハンガー5 個
<input type="checkbox"/>	ピンチハンガー1 個(手袋や靴下を干します)
<input type="checkbox"/>	2泊3日程度の着替えが入るサブザック。フィールドトリップや合宿・民泊時に使用します。 (当日手荷物用のサブザックと併用でかまいません)
<input type="checkbox"/>	上靴
<input type="checkbox"/>	うがい用コップ(プラスチックのもの)
<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ(必要であれば)
<input type="checkbox"/>	春休みの課題学習(必要であれば)

※ 着替えは5日分用意ください。

※ 洗濯は期間中1回程度実施します。

■大荷物の送り先について

ネイパル森 北海道茅部郡森町駒ヶ岳657-15 TEL:01374-5-2110

※配送業者に荷物の到着日を「3月23日(日)必着」とご指定ください。

※配送は「ヤマト運輸・往復宅急便」でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。

他の運送業者では集荷が無い場合がございますのでご協力お願いいたします。

※伝票には、保護者の方の名前のならびに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

■当日手荷物用・サブザック

<input type="checkbox"/>	初日昼食のお弁当！！
<input type="checkbox"/>	水筒（温かいお茶が入るもの。ペットボトルは不可）
<input type="checkbox"/>	保険証写し（封筒に入れてのりづけ、氏名を記載）
<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム（トランプ、UNOなど） ※対戦型カードゲームなどは持ってこないでください。
<input type="checkbox"/>	おやつ（往路の列車内で食べきれる量だけお持ちください） 宿泊施設などで個人のおやつは食べません。
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬（必要な子）
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<input type="checkbox"/>	財布（小遣い3,000円～5,000円程度） （各自の管理となりますが、必要に応じてスタッフが管理する場合があります。）
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします（貴重品の紛失や破損の責任は負いません）	

雪遊びのかっこう

帽子は耳まで
暖められるもの

目を保護するため
スキー用のゴーグル
があると良いです

スキー用の手袋でも
よいが水がしみてく
る。毛糸の手袋にゴ
ム手をするなど、工
夫するとよい。

化繊の下着にフリース・
ジャージなどのインナー（綿
素材はさける）
そしてアウターは防寒・防
水・防風を兼ね備えてもの
（スキーウェアなどがよい）

靴下は厚手のもの
靴は冬用の長靴がよい。
スパッツがあると完璧！

重ね着して調節できるよ
うにしよう!!



北海道 ゆうばりコースについて

1. 開催日:3月25日(火)～4月2日(水) (8泊9日)

2. 参加対象者:小学3年生～中学生

3. プログラム内容

9日間のゆうばりコースの活動場所は北海道三笠市です。皆さんが来る3月は1m以上の雪があり、雪を使った様々な活動を楽しむことができます。今回もウィンタースポーツ大会を開催するほか、雪合戦大会をやったり、1泊2日で旭川の科学館や旭山動物園へ見学に行きます。北海道の雪とマツの木の森で雪遊び体験しながら、みんなでたくさん遊んで楽しみましょう！北海道に着いたら、早朝に外に出て、鼻から思いっきり息を吸ってみて下さい。鼻毛が凍るくらい寒いのですよ！宿泊は暖房の効いた暖かい施設です。身の回りのことは自分でできるようになって（ボランティアがお手伝いします）、ひとまわり成長した姿でふくしまに帰りましょう!!

日にち		内 容
3月25日	火	福島出発、宿泊地到着
3月26日	水	入所式、ネーム作り、アイスブレイク、雪遊び、環境教育
3月27日	木	ものづくり、外遊び自由時間、環境教育、洗濯
3月28日	金	外遊び自由時間、雪を生かした体験活動、環境教育、洗濯
3月29日	土	深川の道立青年の家に移動、雪合戦、動物園見学計画
3月30日	日	旭山動物園&旭川市科学館見学、三笠に戻る
3月31日	月	春のウィンタースポーツ大会、外遊び自由時間、環境教育、洗濯
4月1日	火	外遊び自由時間、環境教育、ふりかえり、修了式
4月2日	日	三笠出発、福島へ帰ります

※天候や積雪により内容が変更されることがあります。

※毎日朝体操と掃除、健康調査を行います。

※外遊び自由時間には、たくさんの雪遊び活動を準備しています。

※班（5～6名）はこちらで決めさせていただきます。班に1人ボランティアが付きます。寝る部屋は男女一部屋ずつとなっており、寝袋で寝ます。

4. 子供たちの主な活動・宿泊場所

北海道教育大学 幌内自然体験学習研究施設 北海道三笠市幌内北星町 346 番地

5. 運営の体制について

- ・ NPO法人ねおす（北海道プログラム総合コーディネート）
札幌市中央区南3条西17丁目291-227 すずかけビル3F
TEL 011-615-3923 FAX 011-615-3914 URL www.neos.gr.jp
- ・ ゆうばりネイチャーキッズクラブ（プログラム企画・実施）
北海道夕張市紅葉山578-2 TEL 090-3770-4314 URL <http://yubari.naturum.ne.jp/>
- 総責任者：上田 融（NPO法人ねおす）
- 連絡先事務局：多々見 ゆりか（北海道立青年の家・北海道自然体験活動サポートセンター）
- プログラム責任者：多々見 ゆりか（北海道立青年の家・北海道自然体験活動サポートセンター）
- 安全管理責任者：能條 歩（北海道教育大学・北海道自然体験活動サポートセンター）
- プログラム中の連絡先：北海道自然体験活動サポートセンター（電話：090-3770-4314）
- 医療体制：地元の医療機関 市立三笠総合病院

6. 往路の移動について

【集合時間】 郡山駅 8：30受付開始、 福島駅 8：50受付開始

※参加人数やJRの予約状況によって列車の変更などが出る場合がございます。変更になり次第、保護者の皆様へご連絡致します。

概要：福島市から郡山市を經由して、函館駅、南千歳駅へ。南千歳駅からバスで1時間30分。現地到着予定時間：19：30 到着場所：三笠市「北海道教育大学 幌内自然体験学習研究施設」

7. 復路の移動について

【JR到着予定時間】 福島駅17時頃着 郡山駅 17時半頃着

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方にお越し頂き直接スタッフに申し伝えるか、北海道自然体験活動サポートセンター（電話：090-3770-4314）へご連絡下さい。事務局への電話連絡は受け付けることはできません。予めご了承ください。

8. 持ち物

■大荷物リスト

※荷物には全て（靴下一足、タオル1枚にも）お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	1泊2日の宿泊用のものが入る、折りたためるカバン（エコバックの大きいものでも可）
<input type="checkbox"/>	9日分の着替え（長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下・下着）※洗濯は適宜可能です。
<input type="checkbox"/>	フリースなどの防寒着（寒いので必ず持たせてください）
<input type="checkbox"/>	バスタオル1～2枚
<input type="checkbox"/>	スポーツタオル、汗拭きタオル ※小さめのものを2～3枚
<input type="checkbox"/>	スキーウェア（レインウェアやウインドブレーカーでの代用不可）
<input type="checkbox"/>	スキーゴーグル（目の日焼けや怪我をしないように持っている方はお持ちください。）
<input type="checkbox"/>	帽子（冬用）、スキー用手袋、マフラーまたはネックウォーマー
<input type="checkbox"/>	洗面用具、石鹸、シャンプー、コンディショナー
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット、洗濯バサミ、ハンガー （名前は大きめに見やすい場所にお書きください）
<input type="checkbox"/>	ビニール袋（レジ袋）3～4枚程度
<input type="checkbox"/>	レインウェア
<input type="checkbox"/>	懐中電灯（ヘッドランプが望ましいです。予備電池も持たせてください）
<input type="checkbox"/>	日焼け止め（雪で日焼けをします。必要に応じてお持ちください）
<input type="checkbox"/>	マイカップ（お茶など飲むときに使います）
<input type="checkbox"/>	保温できる水筒
<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ
<input type="checkbox"/>	上靴
<input type="checkbox"/>	勉強道具、読書用の本

※当日手荷物用・サブザック（リュックサックが望ましい）

<input type="checkbox"/>	保険証の写し
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬
<input type="checkbox"/>	1日目のお弁当（移動中に食べます。おにぎりなど手軽に食べられるものをご用意ください）
<input type="checkbox"/>	飲み物。水筒やペットボトルにお持ちください。
<input type="checkbox"/>	飛行機や車に酔う子は、酔い止め・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	お小遣い（旭山動物園、旭川市科学館でお買い物をすることができます。また宿泊施設内で、ジュースを毎日1本程度購入することができます）
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<input type="checkbox"/>	ネームプレート（以前ゆうぱりプログラムに参加したことのある人は、自分で作った木の名札をもってきてください。今回の参加分のストーンが増えます）
<input type="checkbox"/>	必要に応じて日焼け止めクリーム、リップクリームやハンドクリーム（日焼け、乾燥しますので荒れやすい方はお持ちください）

大荷物の送り先について

〒068 - 2143 北海道三笠市幌内北星町 346 番地 [TEL:01267-2-3344](tel:01267-2-3344)

北海道教育大学 幌内自然体験学習研究施設

- * 配送業者に荷物の到着日を「**3月24日午後または25日必着**」とご指定下さい。これ以前はスタッフ不在のため受け取りができません。
- * 配送は、往復宅急便でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。
- * 伝票には、保護者の方の名前のなかに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。
- * 貴重品については、お金のみ、こちらで必要時以外はお預かりし管理させていただきます。それ以外の貴重品につきましては、自己責任で管理していただきます。紛失や破損などの責任は負いません。
- * ゆうぱりコースでは、プログラムの効果の検証と改善のために、こどもたちに簡単なアンケートをお願いしています。結果は数値として集計・統計処理され、公表される可能性もありますが、その場合でもこどもたちや皆様の個人が特定されるようなことはないようにいたします。プログラム改善のための調査・研究にご理解とご協力をお願いいたします

服装等の注意点

- ☆朝晩は冷え込むので、長袖で上から羽織るもの（フリースなど）が必要です。
- ☆外での活動中は冬用の帽子（保温性のあるもの、耳が隠れるもの）着用を原則とします。
- ☆雪でも日焼けをするので、必要に応じて日焼け止めクリームの準備をお願いいたします。
- ☆長靴はこちらから貸出をいたします。参加申し込みの時に記入いただいた長靴を用意しています。
- ☆スキーウェアを用意できない場合は、貸し出しが可能です。希望者は説明会で担当者に申込用紙を提出頂くか、ふくしまキッズ事務局へ電子メールでお申し込みください。
(info@fukushima-kids.org) 記載事項は、名前、普段着ている服のサイズと身長・体重です。貸出の申し込み締切は3月10日24時といたします。



あぶくまプログラム

1. 開催日：3月26日（水）～4月1日（火）

（※開催期間中の途中参加、途中帰宅も可能です。最短1泊2日から最長6泊7日。）

2. 参加対象：小学1年生～中学生

3. プログラム内容

☆ テーマ：「協調性の心を育む」

自分の事も、期間中一緒になった子も互いに協力し合いながら生活を作り上げて行くことを・・・導いてゆきます。

☆ 親子約束を立てましょう！

参加期間中、保護者の方と共にあることへの意識向上につなげます。親子の約束をいっしょに考えて色紙に書いて持参ください。

特 長

☆ 合宿スタイル生活重視型。午前＝学習時間、フリープログラムで、活動タイムは子どもたちの興味関心のある活動を主に行います。午後＝全体活動として、協力しあい互いを向上出来る内容で実施します。

☆ 田舎作り体験民宿の環境で、共同生活の大切さを学びます。

☆ 子どもたちの自主性、協調性、少しの我慢の力を伸ばします。

☆ 各地の活動プログラムに参加出来る基本的な自立、自己管理能力などを育成していきます。

☆ のびのびじっくり、時間に追われることなく、みんなで楽しく活動しながら体力向上を目指します。

☆ イベント的なプログラムはありません。規則正しい生活習慣を身につけます。

具体的内容〔気候・天候や子どもたちの体調によって実施日や内容に変化があることがあります。〕

	午前	午後	夜
初日	10:00～10:30集合 オリエンテーション フィールドワーク	12:00昼食 13:00活動タイム—約束の確認 15:00おやつ 16:00休憩 17:00夕食支度	18:00夕食 19:00日記、明日への会議 20:00入浴 21:00就寝
滞在期間中	7:00起床 8:00体操 朝食 9:00学習タイム 10:00活動タイム 11:30昼食支度	12:00昼食 13:00全体活動（村体育館・草原・図書館・プール…どれか） 15:00おやつ 16:00休憩 17:00夕食支度	18:00夕食 19:00日記、明日への会議 20:00入浴 21:00就寝
帰宅日	7:00起床 8:00朝食—荷物の整理整頓 9:00学習タイム 10:00活動タイム 11:30昼食支度	12:00昼食 13:00感想文 14:00 お迎え、解散	
役割	＊ 明日への会議で、一人一人の役割を決めます。責任を持ち役目を遂げることも大切な学習です。 ＊ 日直、点呼 ＊ 食事係（朝・昼・夕） ＊ 犬の散歩 ＊ 体操係 ＊ 環境整備、トイレ掃除・・・		

活動内容

・ウォールクライミング ・プロジェクトアドベンチャー ・チャレンジランキング ・鬼ごっこ
 サッカー、キャッチボール ・バスケットボール ・薪割り ・ニワトリ小屋建設

部屋割り・グループ編成について

2段ベッドのお部屋です。新しい友だちを作ることは大切な活動の一つです。部屋割りは、お任せ下さい。活動時のグループ編成などは、子どもたちの自主性を尊重します。約束は一人にならないこと。活動時間は、安全管理も含めてリーダースタッフが24時間必ず付く体制でいます。

4. 子どもたちの主な活動・宿泊場所

〒963-8403 福島県東白川郡鮫川村赤坂東野字葉貫57 あぶくまエヌエスネットフィールド
食事・学習・宿泊先：体験民宿W A R E R A 元気倶楽部—田舎体験の家
連絡先：TEL：0247-48-2508 FAX：0247-57-5775 メールアドレス：abukuma@basil.ocn.ne.jp

5. 運営体制

運営母体：NP0法人 あぶくまエヌエスネット

住所 〒963-8403 福島県東白川郡鮫川村赤坂東野字葉貫57

あぶくまエヌエスネットフィールド

TEL：0247-48-2508 FAX：0247-57-5775 メールアドレス：abukuma@basil.ocn.ne.jp

- 総責任者 進士 徹（NP0法人 あぶくまエヌエスネット）
- 連絡先事務局機能 伊藤 千陽（NP0法人 あぶくまエヌエスネット）
- プログラム・安全管理責任者 伊藤 千陽
- 食事・栄養管理 調理師 進士 由美子（NP0法人 あぶくまエヌエスネット）
- 医療・カウンセリングチーム 地元医療機関

医療機関

- ・ 塙厚生病院 福島県東白川郡塙町大町1-5 TEL：0247-43-1145
- ・ 和田医院 福島県東白川郡棚倉町城跡3-1 TEL：0247-33-2012

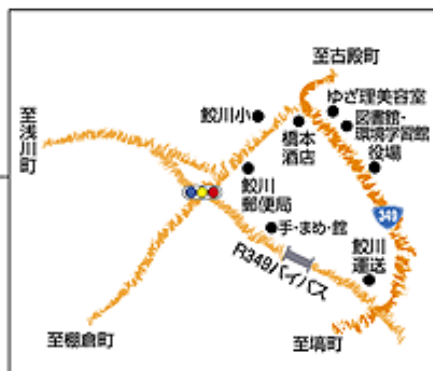
6. 交通手段について

- 保護者の方に、現地までお子さんの送迎をお願いします。
- 集合：午前10時30分まで * 帰宅日解散：午後2時まで

■ 交通

- 郡山～国道4号線—国道118号線経由—国道349号線 車での所用時間1時間15分
- 常磐自動車道、勿来インター～国道289号線—国道349号線経由 車での所用時間40分
- 現地—集合解散です。* ほっとはうすさめがわは当団体とは別施設です。駐車することはできませんのでご注意下さい。

（ナビ入力＝鮫川村宿泊施設：ほっとはうすさめがわ 0247-48-2555施設手前に集合）



- **東北自動車道白河により**
国道289—棚倉町—県道—鮎川村役場(約1時間)
—ほつとはうす(15分)
- **常磐自動車道那珂により**
国道118—塙町—県道—国道289—県道—ほつとはうす(約1時間50分)
- **常磐自動車道勿来により**
国道289—国道349—ほつとはうす(40分)
- **常磐自動車道海老により**
県道—古殿町—国道349—鮎川村役場(約1時間)
—ほつとはうす(15分)
- **福島空港**
国道118—国道349—鮎川村役場(約40分)—ほつとはうす(15分)

荷物リスト

※荷物には全て(靴下1足、タオル1枚、鉛筆にも)お名前を記入するよう徹底的にお願いします。

<input type="checkbox"/>	着替え：泊数分（長袖・長ズボン・厚手の靴下・下着ヒートテック・その他必要と思われるもの）
<input type="checkbox"/>	防水防寒服上下（暖かい冬用が良いです。スキーウェア上下推奨）
<input type="checkbox"/>	防水防寒手袋・帽子（野球帽は寒い！）
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚程度
<input type="checkbox"/>	歯磨きセット
<input type="checkbox"/>	ビニール袋（レジ袋）3～4枚程度
<input type="checkbox"/>	エプロン
<input type="checkbox"/>	おやつ（泊数分—1日150円程度）帰宅日のおやつは無し！
<input type="checkbox"/>	学習セット・好きな本（ゲーム本、漫画本はNG）
<input type="checkbox"/>	お小遣い1000円程度
<input type="checkbox"/>	使い捨てマスク 3枚程度
<input type="checkbox"/>	マイお箸（箸ケースはいりません）
<input type="checkbox"/>	マイカップ（瀬戸物はNG）
<input type="checkbox"/>	長靴
<input type="checkbox"/>	プールセット（水着・ゴーグル・水泳帽・バスタオル）
<input type="checkbox"/>	保険証写し

<input type="checkbox"/>	洗濯ネット(4泊以上に限ります。)
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ+親子約束
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬

- 準備については、お子さんも直接関わるようにしましょう。靴下など細かいものにも名前を記入、もしくは刺繍してください。
- その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします(貴重品の紛失や破損の責任は負いません)
- 忘れ物について、活動終了後の連絡のあった忘れ物については、着払いで発送します。
- 忘れ物で、所持品に名前の明記がないものについては、ひと月後に処分します。ご理解ください。
- この時期の朝晩の気温は、2～4度 日中:5～12度程度
- 空間線量1日平均 0.12～0.18マイクロシーベルト

飛驒高山プログラム

1. 開催日: 3月25日(火)～4月3日(木) (9泊10日)
2. 参加対象者: 小学校1年生～小学校6年生 ※全日程参加が条件
3. プログラム内容

『豊かな心で繋げよう未来に』～心おどる感動体験、心を繋ぐ交流～

ふくしまキッズ飛驒高山2014では、テーマ『豊かな心で繋げよう未来に』～心おどる感動体験、心を繋ぐ交流～ 達成に向け、さまざまな活動を計画しています。

10日間の飛驒高山プログラムは、大きく3つのステージから成り立っています。

第1ステージは、各務原市少年自然の家で3泊4日の体験活動ができます。主な内容は、濃尾平野木曽川の畔、国宝犬山城が間近に見える各務原市少年自然の家での活動です。濃尾平野の暖かな春の野山での昼食の自炊や遊びを中心にした体験活動と、航空自衛隊の基地やかかみがはら航空宇宙博物館での航空宇宙技術を目の当たりにした体験活動です。

第2ステージは、飛驒高山市内で小学生の子どもがいる家庭での2泊3日のホームステイです。4つの小学校の保護者の家庭がホストファミリーとなります。福島の子供も達に伸び伸び過ごしてほしいと願ってホームステイを引き受けてくれました。飛驒の家庭でゆったりと過ごし、高山の子ども達と思いきり遊んでください。

第3ステージは、飛驒高山市内の木立と川のせせらぎに囲まれた民宿で4泊5日を過ごします。民宿を拠点とした体験活動を用意しています。飛驒高山ならではの人情、自然、木工芸、郷土食を体験します。民宿では郷土食である五平餅や笹の葉寿司を調理し、食べる活動をしします。稲本正氏が代表のオークビレッジでは、マイ箸の製作と飛驒の野山を楽しむ体験をします。飛驒情緒豊かな飛驒高山の散策を高山の小学生がエスコートしてくれます。芸術家、中島法晃氏には、子ども達に全身で表現できる創作体験を用意していただいています。高山市の子どもたちも一緒に制作します。『熟議』をします。熟議では、高山市の子どもたちと1つのテーマで話し合いをします。それは、遠く離れていても、共に『ふるさと』に貢献できる礎を築き、未来に向けて共に歩んでいける仲間として心を繋ぐ体験となることでしょう。

そして、ふくしまキッズの意義を理解し、元気一杯の大学生のお兄さん、お姉さんが、子ども達の活動をサポートします。

日 程	午前中の活動	午後の活動	備 考
3月25日 (火)	福島、郡山出発、岐阜羽島経由 各務原市到着	各務原市少年自然の家 熟議1	各務原市少年自然の家
3月26日 (水)	自炊活動	里山探検:小川探検	各務原市少年自然の家
3月27日 (木)	航空自衛隊各務原基地見学	かかみがはら航空宇宙科学博物館 見学	各務原市少年自然の家
3月28日 (金)	創造遊び	各務原市～高山市へ移動(バス)	ホームステイ

3月29日 (土)	ホームステイ(高山市内) 土曜教室(新宮小学校)		
3月30日 (日)	ホームステイ(高山市内)		民宿 朴葉荘
3月31日 (月)	郷土食体験:五平餅・笹の葉寿司	オークビレッジ:箸づくり、森林体験	民宿 朴葉荘
4月1日 (火)	飛騨高山の町散策	飛騨高山の町散策	民宿 朴葉荘
4月2日 (水)	熟議2(南小多目的ホール)	芸術体験(南小体育館)	民宿 朴葉荘
4月3日 (木)	高山市～垂井町へ移動(バス)	垂井町～岐阜羽島駅経由郡山駅・福島駅	

プログラム中の生活について

子どもが子どもらしく伸び伸び過ごし、互いに協力し合い、楽しく生活を創りあげ、自分の事は自分でできるように努力していきましょう。

飛騨高山プログラムでの約束は、現地(各務原市少年自然の家)に到着し、みんなで話し合って決めて行きます。

基本的な生活スタイル

7:00 起床

・・・寝具の始末、着替え、歯磨き、健康観察

8:00 朝食(協力して配膳、後片付け 諸連絡)

・・・生活の時間(身支度、清掃、洗濯など)

9:00 午前の活動(体験活動)

12:00 昼食(民宿または活動によって外食、弁当など)

13:00 午後の活動(体験活動)

17:00 振り返り活動(グループ毎に1日の活動や行動の振り返り)

18:00 夕食(協力して配膳、後片付け 諸連絡)

・・・生活の時間(入浴、休憩、清掃など)

20:00 自由時間、仲間や宿の人との交流、学習など

・・・学習の時間(学習室でボランティアが対応)

21:30 就寝 スタッフ会議

・・・寝具の用意、着替え、歯磨き、健康観察

身の周りの整理や準備については、時間のゆとりを十分に持つようにします。また、このような活動には学生ボランティアが、支援にあたります。

4. 子どもたちの主な活動場所・宿泊場所

- ◇ 各務原市立少年自然の家：〒509-0143 各務原市鵜沼小伊木町4丁目213 ☎ 058-370-5258
- ◇ 民宿 朴葉荘：〒506-2115 岐阜県高山市丹生川町小野457-2 ☎ 0577-79-2523
- ◇ ホームステイ：岐阜県高山市内の小学校の保護者
- ◇ 現地本部 ☎ 090-8557-6493(高橋 忠明)・090-1472-0959(白井 幸子)

5. 運営の体制について

- 総責任者 本多 功(NPO法人教育支援協会東海代表)
- 連絡先事務局 名古屋市西区南川町297 ☎052-505-4900
- 現地連絡先事務局 高山市丹生川町日面73-1 ☎0577-79-2005
- プログラム・安全管理責任者 本多 功(NPO法人教育支援協会東海代表)
鈴村仁孝(一般社団法人ふるさと体験飛騨高山事務局長)
- 医療・カウンセリングチーム
地元医療機関： 高山市赤十字病院 高山市天満町3-11 ☎0577-32-1111
久美愛厚生病院 高山市中切町1-1 ☎0577-32-1115
丹生川診療所 高山市丹生川町町方88 ☎0577-78-1016

運営体制について

ディレクター(4名)の下、5名~6名のグループに学生ボランティアが1名つき、地元ボランティアが補助をいたします。

自然体験は自然体験の専門家が、数名で案内します。カウンセラーが、常駐します。

部屋割り・グループ編成、ホストファミリーについて

福島を離れ、初めての出会いを子どもたちは経験します。共同で生活する仲間やボランティアの方々との出会い。そして、ホストファミリーとの出会いがあります。このような出会いの中で子どもたちは、社会とのかかわりを学んでいくことになります。

部屋割りやグループ編成についても新しい仲間、初めての新しい友だちを作るチャンスであることを学ぶ機会にしてほしいと思います。部屋割り・グループ編成はこちらにお任せください。(期間途中にお部屋割を替える事もあります)

ホストファミリーについては、受け入れ側の学校担当者と協議し決定いたします。ホストファミリーと各保護者は、適宜、コミュニケーションをとっていただくことが可能です。

新しい環境ではじめて会った仲間やホストファミリーとの人間関係を築くことは、お子さんにとって貴重な体験になり、生きる力となります。趣旨をご理解いただき、ご協力のほどお願いいたします。

医療機関について

高山市赤十字病院 高山市天満町3-11 ☎0577-32-1111
久美愛厚生病院 高山市中切町1-1 ☎0577-32-1115
丹生川診療所 高山市丹生川町町方88 ☎0577-78-1016

6. 移動について

往 路： JR 福島駅・郡山駅より、東京経由岐阜羽島駅まで新幹線で移動
岐阜羽島駅から各務原市少年自然の家までバスで移動
各務原市少年自然の家から、高山市立新宮小学校までバスで移動

復 路： 高山市内民宿から垂井町経由岐阜羽島駅までバスで移動
岐阜羽島駅から東京経由JR郡山駅・福島駅まで新幹線で移動

7. 往路について

【集合場所、時間】 3月25日(火)

福島駅 8時45分 集合/受付開始

郡山駅 9時 集合/受付開始

●到着場所:各務原市立少年自然の家

●想定移動時間:5時間30分ほど

内訳:福島駅から岐阜羽島駅まで約4時間 岐阜羽島駅から各務原市少年自然の家まで約1時間

●現地到着予定時間:15:00頃

- ① 集合前にトイレを済ませておいて下さい。出発時刻の30分前に受け付け開始します。くれぐれも遅刻の無いよう、時間に余裕を持ってお出かけ下さい。
- ② スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。
- ③ 出発時刻の15分前までに名前のチェックを終えてください。

※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂き直接スタッフに申し伝えて下さい。電話連絡は受け付けることは出来ません。ご注意願います。

乗車前の注意事項

☆ 手荷物は、車内に持ち込む荷物デイバック(お弁当、水筒、楽しく過ごせるアイテム、保険証のコピー、衛生用品)程度にしましょう。乗り換え(東京駅)移動があり、短時間で行う必要がありますので、安全面も配慮して両手が空くようなデイバックをお願いします。

☆ 乗り物酔いをしやすい方は、事前に酔い止めの薬をお飲みください。

座席について

新幹線の座席は、指定席です。新幹線の乗降は、スピーディーに行う必要があります。スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます

8. 復路について

【解散場所/時間】 4月 3日(木)

郡山駅 18時00時 到着 解散

福島駅 18時10分 到着 解散

●想定移動時間:9時間ほど

内訳:高山市から垂井町まで約2時間30分 垂井町で休憩1時間30分

岐阜羽島駅までバス で約1時間 岐阜羽島駅から福島駅まで約4時間

●福島市到着予定時間:18時20分頃

解散のながれ

スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方（友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など）は、必ず引率責任者西尾（080-5130-2403）までご連絡を下さい。

9. 持ち物について

■大荷物リスト

※荷物には全て（靴下一足、タオル1枚にも）お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	旅行用かばん（移動が多々あります。福島との往復は宅急便を使用します。）
<input type="checkbox"/>	着替え（長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下・靴下・下着）
<input type="checkbox"/>	防寒着（分厚いセーター・フリースは必ず1枚は入れてください。）
<input type="checkbox"/>	洗面用具、シャンプー、リンス
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚～3枚
<input type="checkbox"/>	バスタオル1枚
<input type="checkbox"/>	防寒手袋
<input type="checkbox"/>	防寒具（毛糸の帽子、ネックウォーマーなど）
<input type="checkbox"/>	雨具（折り畳み傘または、雨合羽：簡易なもので）
<input type="checkbox"/>	軍手（自炊活動で使用します）
<input type="checkbox"/>	ビニール袋（レジ袋）4から5枚程度
<input type="checkbox"/>	懐中電灯またはヘッドランプ（予備電池）
<input type="checkbox"/>	ホッカイロなど
<input type="checkbox"/>	春休みの課題学習（必要であれば）

■当日手荷物用・サブザック

<input type="checkbox"/>	初日昼食の弁当（新幹線の中で食べます。）
<input type="checkbox"/>	水筒（温かいお茶が入るもの。見学や散策の際に活用します。ペットボトルは不可）
<input type="checkbox"/>	上履き（小学校での上履き、少年自然の家で使用）
<input type="checkbox"/>	帽子（森の中を歩くので、頭を守るため）
<input type="checkbox"/>	保険証写し（封筒に入れてのりづけ、氏名を記載）
<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬（必要な子）
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<input type="checkbox"/>	財布（小遣い 1,000～5,000 円程度） （各自の管理となりますが、必要に応じてスタッフが管理する場合があります。）
<input type="checkbox"/>	宅急便、着払い伝票
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします（貴重品の紛失や破損の責任は負いません）	

■ 大荷物の往復について

往復とも宅急便でお願いします。

往:

1. 送り先住所

各務原市立少年自然の家

〒509-0143 各務原市鵜沼小伊木町4丁目213 ☎ 058-370-5258

2. 荷物の到着日:必ず指定してください。

3月25日(火)必着

* 3月24日(月)、各務原市少年自然の家、休館日

復:

1. 大荷物を各家庭へ送る(復路)

民宿 朴葉荘から、宅急便で送っていただきます。

2. 着払い伝票

記入の上、子どもに持参させてください。

※着払い伝票には、保護者の方の名前ならびに、必ず「参加するお子様の名前」を
ご記入ください

京都プログラム

1. 開催日:3月25日（火）～ 4月2日（水）（8泊9日）

2. 参加対象者:小学校3年生～中学校3年生

3. プログラム内容

【京丹波の豊かな自然と生活】京都美山～京都市周辺

関西随一の豊かな自然、そして「清流美山川」と「かやぶきの里」で知られる京都美山の山村集落を軸に活動を行います。そして京都市内での観光やパラグライダーなどのアウトドアスポーツ体験も含めて、京都の豊かな自然と人の暮らし、そして文化を感じられる8泊9日のプログラムを行います。

長い移動の後の一日目は京都宇多野ユースホテルでウェルカムパーティー。美しく広い施設内で全日程のスタッフ達と顔を合わせて様々なゲームやスポーツを楽しみます。翌日からは美山エリアに移動し、いよいよ山村プログラムの始まりです。残雪の残る春山ハイキング、クライミング、ラフティングなどの自然体験はもちろんのこと、地元の人とお餅つき体験や、集落のお母さん方が提供する毎朝の手作りの郷土食など、山村の暮らしの豊かさに触れてください。最終の2日間は京都市近郊に移動し空の体験（パラグライダー）や京都市内での観光のお楽しみも。

文化と自然の豊かな京都で2回目の開催をむかえます。スタッフ、そして美山の集落の方々とともに心より皆様のご参加をお待ちしております！！

日にち		内 容
3月25日	火	福島出発、京都市到着 ウェルカムパーティー 京都宇多野ユースホテル泊
3月26日	水	美山町へ移動 宿舎に分かれて生活の準備 自由時間
3月27日	木	天候に合わせてプログラムは入れ替えます。 内容 ラフティング 残雪のハイキング、サイクリング、クライミング、 お餅つき、地元小学生とのスポーツ交流など 他、毎朝の動物の世話、牧場へのお使い、地域の方との交流などがあります。
3月28日	金	
3月29日	土	
3月30日	日	
3月31日	月	思い出作り 外遊び自由時間、お別れパーティー
4月1日	火	友愛の丘(城陽市)に移動 パラグライダー体験
4月2日	水	広場での自由時間(スポーツ等)京都駅周辺で観光 解散

具体的な内容

◇自然体験 早春ハイキング／ラフティング(川下り)／パラグライダー(斜面を少し浮き上がる程度の初心者体験)／サイクリング／クライミングなど

◇山村体験 お餅つき体験／地元小学生とのスポーツ交流体験／集落の人との軽作業など

◇観光 京都駅周辺 京都市内(二条城など)

プログラムの補足

- ・京都美山を中心とした各地域の自然素材を活用した体験活動を行います。
- ・子どもたちは身の回りの事は、できる限り自分でしていただきます。学生ボランティアは基本的には見守り、自立した形で生活が出来る様に必要に応じて補助いたします。
- ・「生活時間」とは、洗濯や身の回りの整頓、勉強などの時間です。
- ・プログラム内容については年齢差、体力差、また体調も考慮して行います。
- ・体調に応じてプログラム休む場合にも、体調に合わせて楽しめるプログラム(遊び・体験)を用意しています。

プログラム中の生活について

方針

- ・「上げ膳据え膳」ではなく、衣食住に関する日常の作業を、出来るだけ子供たち同士で考え、協力し合い行います。スタッフは子供たちの自発性を見守り、必要に応じてサポートします。

ねらい

- ・仲間や自然、動物に対して思いやりの気持ちを育む。
- ・毎日の「心を込めた食」を通して「いただきます」と「ごちそうさま」の気持ちを育む。
- ・出来るだけ自由行動の時間を設け、子供達同士の自発的な遊びを支援する。

基本的な生活スタイル

6:30 起床

6:45 家畜の世話・朝ごはんの準備・洗濯など

7:30 朝ごはん～自由時間

9:30 プログラムの準備～開始

昼食

15:00 プログラム終了～片付け、着替えなど

生活時間(洗濯や学習など)～自由時間

18:30 夕食

19:30 夜のプログラムなど(ナイトハイク・ナイトサファリ・キャンプファイヤーなど)

運営体制

総括責任者の下に、各宿舎、各プログラムに1名の担当責任者を置き、各施設の複数のスタッフが食事、プログラム等の実施と安全管理、指導を役割分担して行います。子供たちの直接的なサポート体制は、全体を男女2班ずつ、計4班に分け、常に子供たちと行動を共にし、生活面も含めてサポートするリーダースタッフが各班に1名以上がつき、常時、各担当責任者、スタッフと連絡を取り合いながら安全管理、運営を行います。

部屋割り・グループ編成について

新しい友達を作るというのも大切な活動の一つですので部屋割り・グループ編成はこちらにお任せ下さい。既存の子供たちの関係性に固執せず、新しい環境ではじめてあった仲間と人間関係を築くことは、子供達にとって大切な機会であり、リフレッシュにも繋がります。趣向をご理解いただきご協力をお願いします。

4. 子どもたちの主な活動・宿泊場所

◇1泊目

京都宇多野ユースホステル 京都市右京区太秦中山町 29 TEL:075-462-2288

◇2～7泊目(分宿)

田歌舎 京都府南丹市美山町田歌上五波1 TEL:0771-77-0509

観光農園江和ランド 京都府南丹市美山町江和 TEL:0771-77-0330

◇8泊目

青少年野外活動センター友愛の丘 京都府城陽市寺田南中芝80 TEL:0774-53-3566

5. 運営体制

○ 総責任者 藤原 誉(田歌舎) TEL:090-5060-5909

○ 連絡先事務局 藤原 誉(田歌舎)

○ プログラム・安全管理責任者 砂山 真一(ポジティブアースネイチャーズスクール)

プログラム中の連絡先 田歌舎 TEL:0771-77-0509 Email:tautasya@cans.zaq.ne.jp

医療機関

・宇多野病院 京都市右京区鳴滝音戸山町8 TEL:075-461-5121

・救急 京都第二赤十字病院 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5 TEL:075-231-5171

・救急 太秦病院 京都市右京区太秦帷子ノ辻町30 TEL:075-871-0505

・美山診療所 京都府南丹市美山町安掛下8番地 TEL:0771-45-1113

・京北病院 京都市右京区京北下中町烏谷3 TEL:075-854-0221

・公立南丹病院 京都府南丹市八木町八木上野25 TEL:0771-42-2510

・木津川病院 京都府城陽市平川西六反26-1 TEL:0774-54-1111

6. 往路の移動について

【集合場所と時間】 福島駅集合・受付開始 8時45分 郡山駅集合・受付開始 9時

京都宇多野ユースホステルへ 17:00 着予定

* 到着場所:京都宇多野ユースホステル 京都市右京区太秦中山町 29 TEL:075-462-2288

● 想定移動時間:5時間ほど

内訳:福島駅から(郡山駅を経由)新幹線で東京駅まで1時間半

東京駅から京都駅まで2時間半、市バスで宇多野ユースまで約30分

● 現地到着予定時間:17:00 京都観光を挟み移動するのでユースホステル着は17:00頃を予定

① 集合前にトイレを済ませておいて下さい。出発時刻の30分前に受け付け開始します。くれぐれも遅刻の無いよう時間に余裕を持ってお出かけ下さい。

② スタッフが郡山・福島集合場所に待機します。ふくしまキッズの旗が目印になります。順次名前を確認します。

③ 出発時刻の15分前までに名前のチェックを終えてください。

④ お昼ご飯をご持参ください。(電車内での昼食となります)

⑤ 手荷物は車内に持ち込むデイパック(お弁当、水筒、保険証などのコピー、衛生用品)程度にしましょう。

⑥ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。

※多人数での移動になりますので、指導者の指示に従い円滑に移動するようご協力をお願いします。

※当日何らかの理由でキャンセルする場合は、集合場所まで保護者の方はお出で頂き直接スタッフに申し伝えて下さい。無理な場合は青木（090-6940-4333）までご連絡ください。

座席について

座席は指定席です。スタッフが号車と座席のおよその場所を示しますので、スタッフの指示に従って列車に順序良く乗りこみ、とりあえず空いている席に座ってください。乗り込んだ後に席を決めます。

7. 復路の移動について

解散場所：福島駅 郡山駅

郡山駅着 17:30頃 福島駅着 17:40頃

* 想定移動時間：4時間30分ほど

内訳：京都駅から東京駅まで約2時間半

東京駅から福島(郡山経由)まで約1時間半

解散について

スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず青木(090-6940-4333)までご連絡を下さい。

8. 持ち物リスト

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	旅行用かばん(移動が多々あります。段ボール、衣装ケースは不可)
<input type="checkbox"/>	着替え(長袖・長ズボン・長袖ジャージ上下・靴下・下着)
<input type="checkbox"/>	防寒着(分厚いセーター・フリースは必ず1枚は入れてください。)
<input type="checkbox"/>	洗面用具
<input type="checkbox"/>	タオル 2枚～3枚、バスタオル1枚
<input type="checkbox"/>	洗濯ネット・洗濯バサミ
<input type="checkbox"/>	防寒手袋(トレッキング、パラグライダーなどで使用)
<input type="checkbox"/>	防寒具(毛糸の帽子、ネックウォーマーなど)
<input type="checkbox"/>	雨具(上下セパレート式が望ましい)
<input type="checkbox"/>	防水・撥水性の高い運動靴(アウトドア活動用)
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)4から5枚程度
<input type="checkbox"/>	懐中電灯またはヘッドランプ(予備電池)
<input type="checkbox"/>	上履き(体育館シューズでよい)
<input type="checkbox"/>	あれば、速乾性のあるアンダーウェア(ラフティングに使用)

<input type="checkbox"/>	濡れてもいいジャージズボン、(複数あれば併用可、ラフティングに使用します)
<input type="checkbox"/>	水着(ラフティングに使用します)
<input type="checkbox"/>	ウォーターシューズまたは、水に濡れてもいい運動靴 併用可(ラフティングに使用します)
<input type="checkbox"/>	春休みの課題学習(必要であれば)

■ 大荷物送り先住所

〒616-8191 京都市右京区太秦中山町 29 京都宇多野ユースホステル ふくしまキッズ宛

TEL:075-462-2288

※配送業者に荷物の到着日を「**3月25日(火)必着**」とご指定ください。

※配送は「ヤマト運輸・往復宅急便」でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。

※伝票には、保護者の方の名前のなほ、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

■ 当日手荷物用・サブザック

<input type="checkbox"/>	初日昼食のおにぎり弁当！！
<input type="checkbox"/>	水筒(温かいお茶が入るもの。ペットボトルは不可)
<input type="checkbox"/>	保険証写し(封筒に入れてのりづけ、氏名を記載)
<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬(必要な子)
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<input type="checkbox"/>	財布(小遣い 5,000 円程度) (高額を持たせないでください。必要に応じてスタッフが管理する場合があります。)
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします(貴重品の紛失や破損の責任は負いません)	

兵庫・新温泉町プログラム

1. 開催日:3月25日(火)～3月30日(日) (5泊6日)
2. 参加対象者:小学校3年生～小学校6年生 ※全日程参加が条件
3. プログラム内容

【兵庫県 新温泉町】

活動場所は兵庫県北部にある新温泉町です。町内には温泉(湯村温泉・浜坂温泉・七釜温泉)が湧いてます。新温泉町湯という地名もあり、温泉が各家庭に配湯されていて蛇口をひねると温泉が出てくるという地域もあるほど温泉の恵みにあふれた地域です。海岸部ではホタルイカ、ハタハタ、松葉ガニなど日本海の新鮮な魚介類が豊富に獲れます。また、山間部では様々なブランド牛(神戸牛、飛騨牛、松坂牛等)の素牛(もとうし)である但馬牛を飼育しています。そのような地域の恵みに関係した体験を行います。

見知らぬ家庭で過ごすホームステイでは大変緊張すると思いますが、ふくしまキッズがやって来るということで受入家庭として手をあげていただいた家族との生活です。きっと心温まる交流が生まれ、貴重な体験になると信じています。

日程	時間	内容
3/25	12:35 13:50 16:30	福島空港出発 大阪空港着 新温泉町到着 (宿泊 浜坂海岸レクリエーションセンター)
3/26	午前 午後	但馬牧場公園(但馬牛の学習会、うどん打ち体験) タグラグビー ほか (宿泊 浜坂海岸レクリエーションセンター)
3/27	午前 午後	但馬海岸遊覧船乗船 昼食 山陰海岸ジオパーク館(大地の学習・砂絵制作) (宿泊 ホームステイ)
3/28	午前 午後	リフレッシュパークゆむら(温水プール、露天風呂) 湯村温泉 各種体験 (宿泊 ホームステイ)
3/29	午前 午後	鳥取砂丘ウォーキング (宿泊 ホームステイ)
3/30	15:40 16:50	お別れ式・移動 大阪空港発 福島空港着

プログラムの補足

- ・新温泉町を中心とした各地域の自然素材を活用した体験活動を行います。
- ・子どもたちは身の回りの事は、できる限り自分でしていただきます。学生ボランティアは基本的には見守り、必要に応じて補助をします。

・3月27日～29日は、「民泊（ホームステイ）」プログラムです。グループや宿泊先は、子どもたちやホストファミリーの意向を参考にしつつ、受け入れ本部で決定します。受入家庭では家族の方の言うことを聞き、積極的に行動してください。

プログラム中の生活について

☆テーマ：

子どもが子どもらしく伸び伸び過ごし、互いに協力し合い、楽しく生活を創りあげ、自分の事は自分でできるように努力していきましょう。参加者同士、そして受け入れ家族との積極的な交流を心掛けましょう。

基本的な生活スタイル

6:00 起床
7:00 朝食
8:00 各家庭出発
8:30 役場前に全員集合
9:00 午前の活動（体験活動）
12:00 昼食
13:00 午後の活動（体験活動）
17:30 各家庭へ
18:00 夕食
・・・生活の時間（入浴、休憩、清掃など）・・・
21:00 就寝

各受入家庭とは事前打ち合わせを行い、片付けをする時間、翌日の準備をする時間などを家庭活動の中でも十分に取るようにします。また、ホームステイ先では、受入家庭の生活リズムに合わせて起床、就寝を行ってください。

4. 子どもたちの主な活動・宿泊場所

浜坂海岸レクリエーションセンター「松の湯」 兵庫県美方郡新温泉町芦屋853-31 TEL:0796-82-0932

但馬牧場公園	兵庫県美方郡新温泉町丹土1033	TEL:0796-92-2641
リフレッシュパークゆむら	兵庫県美方郡新温泉町湯1371	TEL:0796-92-2002
山陰海岸ジオパーク館	兵庫県美方郡新温泉町芦屋水尻	TEL:0796-82-5222
鳥取砂丘	鳥取県鳥取市浜坂	
湯村温泉「荒湯」	兵庫県美方郡新温泉町湯	

具体的な内容

集団宿泊体験／ホームステイ／学習プログラム（山陰海岸ジオパーク、但馬牛、鳥取砂丘、）／体験プログラム（うどん打ち、砂絵製作）／見学プログラム（但馬海岸遊覧船）／温泉プログラム（湯村温泉で温泉玉子づくり、温水プール及び露天風呂）など

5. 運営の体制について

○ 総責任者 小畑 和之（新温泉町いなか体験協議会 会長）

搭乗・乗車前の注意事項

- ☆ 手荷物は機内・車内に持ち込む荷物デイパック(水筒、保険証のコピー、衛生用品)程度にしましょう。
- ☆ 乗り物酔いをしやすい方は事前に酔い止めの薬をお飲みください。

座席について

飛行機の座席は指定席です。搭乗前に席順に並び、引率スタッフにつづいて機内に乗り込みます。スタッフの指示に従って席に座ってください。飛行機内では他の乗客の迷惑にならないよう静かに過ごしましょう。マイクロバスの座席については自由席です。

8. 復路について

● 想定移動時間: 4時間ほど

内訳: 新温泉町から大阪国際空港まで2時間40分、大阪国際空港から福島空港まで1時間20分

● 福島空港到着予定時間: 16:50(ANA1697便)

解散について

スタッフのあいさつの後、保護者の方のお迎えを確認して解散となります。スタッフに名前を告げてからお帰りください。

※お迎えが保護者以外の方(友達の保護者、友達同士で帰る場合、1人で帰る場合など)は、必ず事務局(0796-82-5625)までご連絡を下さい。

その他

今回の体験活動などに関する質問は下記のメールアドレスまで。

tatsu_shinonsen@yahoo.co.jp

回答は全保護者にメールを送信します。(個別事項の質問についてはその限りではありません。)また、迷惑メールブロックをしている場合は上記のメールアドレスについて受信可能状態になるよう設定をお願いします。

9. 持ち物について

荷物リスト

■ 荷物送り先住所

「浜坂海岸レクリエーションセンター 松の湯」

兵庫県美方郡新温泉町芦屋 853-31 TEL:0796-82-0932

※配送業者に荷物の到着日を「**3月24日(月)必着**」とご指定ください。

※配送は宅急便をお願いします。なお、復路着払い伝票をご記入の上ご持参ください。

※伝票には、保護者の方の名前のならびに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

※荷物を発送する場合、メールでご連絡ください。連絡先:tatsu_shinonsen@yahoo.co.jp

■ 大荷物リスト

但馬(たじま)地域の気候は「弁当忘れても傘忘れるな」と言われるほど、比較的降雨の多い地域です。また、冬には町内でも標高の高い地区では積雪が2メートル以上にもなりますし、3月下旬はまだ気温的には安定していません。重ね着で気温に対応できるよう服装の準備をお願いします。

ホストファミリーには洗濯を依頼しますのでご安心ください。

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	かばん
<input type="checkbox"/>	着替え(長袖・長ズボン・長袖ジャージ・靴下・下着)
<input type="checkbox"/>	防寒着(薄手のフリースなどと合羽を組み合わせるなど)
<input type="checkbox"/>	洗面用具、シャンプー
<input type="checkbox"/>	バスタオル1枚 タオル 2枚～3枚
<input type="checkbox"/>	水着・水泳キャップ・ゴーグル (リフレッシュパークゆむらの温水プール、露天風呂で利用)
<input type="checkbox"/>	折り畳み傘
<input type="checkbox"/>	合羽上下(鳥取砂丘ウォーキングは雨天でも実施予定)
<input type="checkbox"/>	ビニール袋(レジ袋)3～4枚程度
<input type="checkbox"/>	着替え1式をまとめたもの(宿泊先と体験活動場所が離れているので、 体験活動の際に持参できるように)
<input type="checkbox"/>	春休みの課題学習

■当日手荷物用・サブザック

<input type="checkbox"/>	旅のしおり
<input type="checkbox"/>	水筒
<input type="checkbox"/>	保険証のコピー(封筒に入れてのりづけ、氏名を記載)
<input type="checkbox"/>	飛行機・バス内を楽しく過ごせるアイテム
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬(必要な子)
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします(貴重品の紛失や破損の責任は負いません)	

長崎プログラム

【長崎純心大学 little tree主催】

1. 開催日：年3月25日（火）～3月30日（日）（5泊6日）

2. 参加対象：小学1年生～小学6年生

3. プログラム内容(主な活動のみ)

	午 前	午 後	宿泊施設
3 月 25 日（火）	福島発	長崎着	国立諫早青少年自然の家
3 月 26 日（水）	オリエンテーション	クルージングによる自然イルカ ウォッチング 星空ウォッチング(選択)	国立諫早青少年自然の家
3 月 27 日（木）	長崎調理体験①	長崎の小学生との交流	長崎市立日吉青年の家
3 月 28 日（金）	永井隆記念館見学	子供フリープログラム 長崎調理体験②(障がい者の 方との交流)	カトリックセンター
3 月 29 日（土）	子ども熟議(長崎の小学生 との交流)	みんなで計画する長崎路面電 車の旅(長崎の小学生との交 流) 温泉 お別れ会	カトリックセンター
3 月 30 日（日）	長崎発	福島着	

プログラムの補足

・3月29日（土）に予定されている「子ども熟議」とは、元々、文部科学省の主導で始まった「リアル熟議」を参考にしています。さまざまな問題について自由に対話を重ねながら、みんなが納得のいく解決策を見出していこうというのが、熟議の精神です。今回は「子ども熟議」ということで、福島の子どもたちと長崎の人々が楽しく交流できるよう、「福島の良いところ」「長崎の良いところ」について、自由に発言できる場にしたいと思います。

・「しおり」を用意しています(1日目に配布します)。子ども達には一日の振り返りを「しおり」に書いてもらいます。

・長崎純心大学の学生が中心となり活動を行い、自然体験や、長崎ならではの路面電車の旅を計画しています。福島より南に位置する長崎で温かい春休みを一緒に過ごしましょう。私たちも若さを武器に思いっきり走り回って活動を楽しみたいとおもいます。楽しみにしています。

4. 子ども達の主な活動・宿泊場所

- ・国立諫早青少年自然の家 〒859-0307 長崎県諫早市白木峰町 1109-1 Tel. 0957-25-9111
- ・長崎市立日吉青年の家 〒851-0254 長崎県長崎市飯香浦町 3715 Tel. 095-824-5017
- ・カトリックセンター 〒851-0254 長崎県長崎市上野町 10-34 Tel. 095-846-4246

5. 運営の体勢について

- 総責任者 荒木 慎一郎 (長崎純心大学 人文学部長)
- 松永 公隆 (長崎純心大学 little tree 顧問)
- プログラム責任者 リーダー 宮崎 いずみ 亀崎 夏海
- サブリーダー 木谷 旦 鉄川 春香
- 医療体制

子ども医療福祉センター 長崎県諫早市永昌東町 24-3 TEL 0957-22-1300
長崎大学医学部付属病院 長崎県長崎市坂本 1 丁目 7-1 TEL 095-819-7200
長崎十善会病院 長崎県長崎市籠町 7 番 18 TEL 095-821-1214

*当日の緊急連絡先

松永 公隆 携帯 090-1348-7859

6. 住路について

3 月 25 日(火) 福島駅集合・受付開始 8 時 45 分 郡山駅集合・受付開始 9 時

※注意事項 出発 15 分前までに名前のチェックを終えてください。スタッフが福島・郡山集合場所で待機しています。ふくしまキッズの旗が目印になります。集合前にトイレは済ませておいてください。

7. 復路について

3 月 30 日(日) 福島駅解散 18 時半ころ 郡山駅解散 18 時 40 分ころ

8. 持ち物について

■ 大荷物送り先住所

〒852-8552 長崎市三ツ山町 235 ふくしまキッズ松永宛 TEL:095-846-0084

※荷物の発送は3月24日までに到着するようにお願いします。それ以降は受け取れません。

※配送は「ヤマト運輸・往復宅急便」でお願いします。無理な方は復路着払い伝票記入の上ご持参ください。

※伝票には、保護者の方の名前のならびに、必ず「参加するお子様の名前」をご記入ください。

■大荷物リスト

※荷物には全て(靴下一足、タオル1枚にも)お名前を記入するよう徹底願います。

<input type="checkbox"/>	寝巻・着替え(長袖・長ズボン・靴下・下着・その他必要と思われるもの)
<input type="checkbox"/>	防寒着(ジャージ・コートなど)
<input type="checkbox"/>	洗面用具(シャンプー・リンス・石鹸はこちらで準備します。)
<input type="checkbox"/>	歯磨きセット
<input type="checkbox"/>	エプロン・三角巾
<input type="checkbox"/>	フェイスタオル

<input type="checkbox"/>	洗濯ネット(名前を書いてください)
<input type="checkbox"/>	バスタオル
<input type="checkbox"/>	折りたたみ傘
<input type="checkbox"/>	その他 自分が必要なもの

■当日手荷物用・サブザック

<input type="checkbox"/>	初日昼食のおにぎり弁当！！
<input type="checkbox"/>	水筒(温かいお茶が入るもの。ペットボトルは不可)
<input type="checkbox"/>	保険証写し(封筒に入れてのりづけ、氏名を記載)
<input type="checkbox"/>	列車内を楽しく過ごせるアイテム
<input type="checkbox"/>	筆記用具
<input type="checkbox"/>	常備薬(必要な子)
<input type="checkbox"/>	車に酔う子は、酔いどめ・エチケット袋
<input type="checkbox"/>	ハンカチ・ティッシュ・生理用品など
<input type="checkbox"/>	ふくしまメッセージ
<input type="checkbox"/>	財布(小遣 3,000 円程度) (高額を持たせないでください。必要に応じてスタッフが管理する場合があります。)
その他自分が必要な物は自己責任の範囲でお願いします(貴重品の紛失や破損の責任は負いません)	

- ・3/26,27,28 日は体を動かすプログラムとなっています。動きやすい服装や着替えの準備をお願いします。
- ・山の上での宿泊地もあり、朝と夜は冷えます。お風呂に入った後の活動もあるので、風邪をひいたり湯冷めしないよう、ジャンパーなどの上着や長袖はしっかり持ってきてください。
- ・乗り物酔いをしやすい方は、酔い止めの薬を必ず用意してください。
- ・洗濯は宿舎でできます。洗剤はこちらで準備します。着替えは名前を書いてください。
- ・活動中の水分はこちらで用意します。

※注意事項

紛失や故障については責任を負いません。貴重品等、不安のある方はスタッフに預けてください。

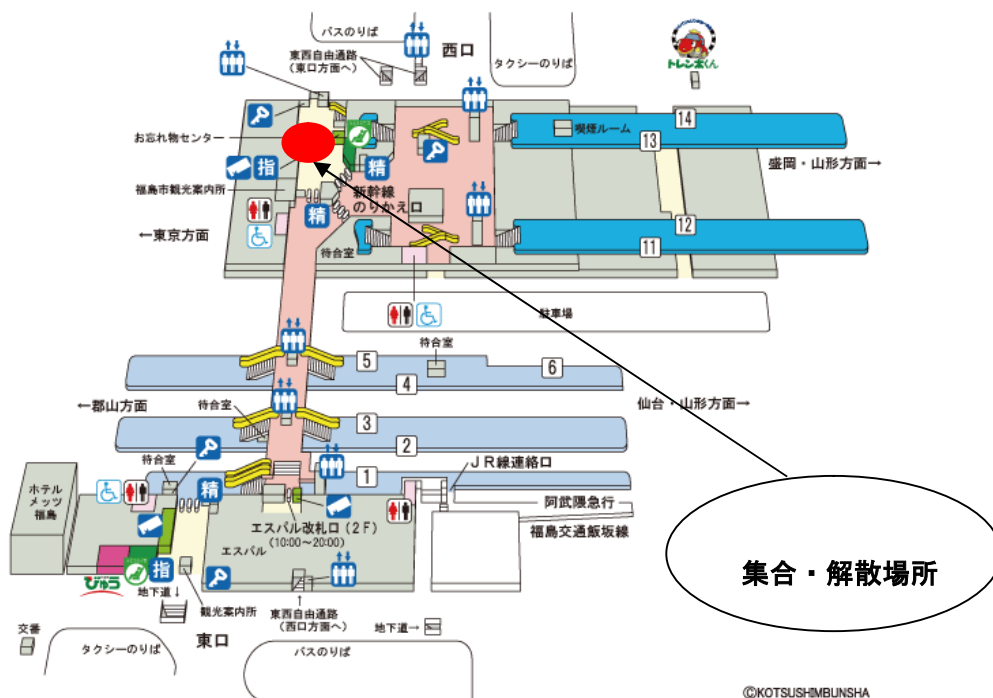
列車共通集合解散場所

郡山駅集合解散場所地図



JR郡山駅内に入ると、2階に改札(中央口)があります(郡山駅にある改札は1つです)。改札の前に通路があり、その中央部のスペースが集合場所です。
※当日の駅の状況により場所を多少変更する場合があります。

福島駅集合解散場所地図



JR福島駅の2階に西口改札があります。階段を上がってすぐのスペースが集合場所です。
※当日の駅の状況により、西口改札の階段から降りてすぐの駅玄関前(外側)に場所を多少変更する場合があります

協 力

NPO法人ねおす・NPO法人 ezorock・ゆうぱりネイチャーキッズクラブ
NPO 法人北海道自然体験活動サポートセンター・三笠市教育委員会・夕張市教育委員会
岩見沢市教育委員会・栗山町教育委員会・北海道教育大学
南北海道グリーンツーリズム運営連合会・大沼グリーンツーリズム運営協議会
一般社団法人子どものチカラ研究会・NPO 法人大沼駒ヶ岳ふるさとづくりセンター
NPO 法人あぶくまエヌエスネット・明治安田生命
岐阜県教育委員会・各務原市教育委員会・高山市教育委員会・垂井町教育委員会
名古屋市教育委員会・高山市社会福祉協議会・ふるさと体験飛騨高山・オークヴィレッジ
ぎふ学生ボランティア地域活動ネットワーク推進協議会・航空自衛隊各務原基地
関西自然教育ネットワーク(KENN) (京都ユースホステル協会、観光農園江和ランド、
京都府南丹市美山町江和・田歌集落、(財)美山町自然文化ムラ河鹿荘)
新温泉町いなか体験協議会・新温泉町・新温泉町教育委員会
長崎市教育委員会
NPO 法人夢職人・CVIK

(順不同)



福島の子どもの笑顔と元気応援プログラム 
ふくしまキッズ実行委員会

E-Mail: info@fukushima-kids.org
TEL: 045-243-3860 FAX: 045-243-6841
住所: 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 3-46 浦舟複合福祉施設 9F
NPO 教育支援協会内 ふくしまキッズ実行委員会事務局